



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町 志津南 NEWS

志津南ホームページ
<http://waka-kusa.net/>

発行
 志津南地区自治連合会
 連絡先
 志津南市民センター
 (公民館) 563-6206

市長とまちづくりトーク

まちづくり協会の仕組みと役割説明 市長が地域に協力を要請

市長を囲んでまちづくりを語り合う「市長とまちづくりトーク」(自治連主催)が2月6日、志津南市民センターで開かれました。

トークには橋川渉市長のほか、上寺和親人権市民協働部長ら幹部5人、地域からは、粕谷利光自治連会長、各町内会長、まちづくり協議会設立準備会委員、



まちづくりトークで市の説明に耳を傾ける出席者

次年度町内会長予定者ら計26人が出席しました。

市は現在、住民と行政が連携した自治体運営を目指して、新しい住民自治の仕組み「まちづくり協議会」の設立を進めています。

当地域では、市の「協働のまちづくり指針」を受けて、平成20年度に「まちづくり検討委員会」を立ち

上げ、平成21年3月にまちづくりの目標を策定するなど、まちづくり協議会の設立に向けた取り組みを進めてきました。

さらに昨年12月、協議会設立に向けた具体的な仕組みづくりをめざし、まちづ

くり協議会設立準備会」を発足させました。

この日のトークでは、まちづくり協議会の設立と平成24年度からの事業移管をめざす市から、まちづくり協議会により地域はどのように変わるのか、まちづくり協議会はどのようなことをするのか、行政の役割ならびに取り組み、まちづくり協議会の位置づけと役割、まちづく

要援護者避難支援に協力を

草津市は「災害時要援護者避難支援プラン」を作成中です。

当地域では、個別支援プラン対象者(75才以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみでお住まいの方、要介護1以上の方)について、昨年十二月初旬、民生委員が対象者の自宅を訪問し、状況をお聞きしながら申請書(個別支援プラン)を作成しました。

今回の要援護登録申請者は

り協議会設立の進め方などについて説明が行われました。

説明のあと、橋川市長は「地方分権から地域内分権、住民が主役のまちづくりを進めていく必要がある。市の借金が700億円あり、これまで通りの公共

準備会役員決める

「市長とトーク」に引き続き、協議会設立準備会の第一回会合が開かれ、役員を選出、選出方法について話し合いました。

「準備会役員については、協議会をにらみ、新役員を交えて決めるべきではないか」「準備会役員は協議会と切り離し、現

要援護者避難支援に協力を

65人で、これに対する避難支援者申請は47人です。災害時の安否確認のためには、要援護者一人につき二人の支援者が必要で、87人不足しています。

中には、支援者0人の方もいます。

同制度は、大規模災害時には消防などの救助が間に合わず、隣近所の助け合いが不可欠なことから、避難の支援を必要とする人に対して、向う三軒両隣、

サービスを税金で賄うのは困難。地域課題に即した行政サービス、急速な高齢化に備えて地域の助け合い活動を支援していきたい」とまちづくり協議会への期待を表明、協力を要請しました。

(自治連合会)

委員の中から選出、新役員が準備会委員になった段階で改めて協議すればいいのでは」など意見が出されましたが、結局、とりあえずは粕谷自治連会長を準備会委員長に、社協会長、自主防災会会長を副委員長とすることになりました。

要援護者避難支援に協力を

町内会、自主防災組織、民生委員など、地域の皆さんで連携して支援する仕組みです。

皆さんには、この制度をご理解いただき、減災支援に協力していただくようお願いいたします。

なお、今回保留されている方も申し込みは継続していただきます。登録・申請していただくようお願いいたします。

問い合わせは民生委員会長松本孝子(電話563-8737)まで。

左義長に250人

志津南地区自治連合会は1月15日午前、若草中央公園で新年恒例の左義長を行いました。当日は全国的な寒波に見舞われ大変寒い日でしたが、風もあ

まり強くなく左義長日和となりました。左義長は自治連合会の今年度の最後の行事であり、飛鳥都市開発、若寿会、子ども会の協力を



左義長の炎に一年の無事を祈る参加者

26日に春季消防総合訓練

湖南広域消防局は、3月1日から始まる「春の全国火災予防運動」に先駆け2月28日(月)午後1時30分から1時間、草津市野路町の立命館大学BKCで春季消防総合訓練を行います。

特殊災害、交通事故が同時に発生したとの想定でヘリや大型車両を動員した大掛かりな訓練です。同消防局では周辺地域住民、町内会防災担当者らの参加を要請しています。問い合わせは同消防局南消防署(電話564・4951)まで。



大規模施設における火災、

防局南消防署(電話564・4951)まで。

西公園に設置された遊具や健康器具



西公園に遊具設置

得て準備を進め、当日は来年度町内会長就任予定のみなさんにも参加してもらいました。おかげで寒い中250人を超える参加をいただき、それぞれがお正月の飾りつけやお札、破魔矢、子どもたちの書初めなどを炎の中に投げ込み、この1年の無事を祈りました。子ども会のぜんざい、ホットカルピスのサービスは、寒い中参加された大人からも好評で、子供にはお菓子の詰め合わせが配られました。また、自治連合会からはお酒も振る舞われ、左義長の火で暖を取りながら新年の挨拶を交わすなど和やかなひとときをすごしました。左義長は地域に根ざした新年の行事として、また、住民のふれ合う場としてこれからも引き続き開催していきたいと思っております。多数の参加をお願いします。

「協力いただいた若寿会、子ども会の役員のみなさんありがとうございました。」(自治連左義長実行委員会)

若草西児童公園に新しい遊具が設置されました。これまでは、公園には子どもたちを対象とした遊具がほとんどでしたが、地域のニーズに見合ったものとして、高齢者が軽運動やストレッチのできる健康増進器具4基と子どもたちを対象とした複合遊具1基が設置されています。また、高齢者向けの健康増進器具には、使用方法

人権コンサートで和やかに

示した表示板も設置されています。健康増進のためだけでなく、子どもから高齢者までが共に利用できる公園にすることにより、世代間の交流を進めることも目的としてあります。

散歩の途中にもぜひ公園に立ち寄っていただき、新鮮な空気のもと、健康づくりをしながら、子ども・親・祖父母の三世代が交流できる場所として楽しい語らいの時間を持っていただきたいと思っております。

志津南地区同和教育推進協議会と志津南市民センター(公民館)合同の各町内学習懇談会報告会と人権講座が1月23日、同市民センターで開かれました。各町内会から10月に行われた学習懇談会の内容が報告されたあと、人権コンサートで「A & B(エイトビート)」のお話と演奏を通して楽しく学びました。

小学校教諭の白井さんと市教委職員の水田さんの二人は、「歌を通して、人のつながりの大切さを伝えたい」と人権をテーマに、県内でボランティア演奏活動を続けています。

「竹田の子守唄」など、おなじみの曲や、白井さん作詞作曲の曲をみんなで歌いながら、曲と曲の間に交わされる二人の会話や歌詞の中に、私たちの人権意識を再認識させられる場面があり、二人は「差別について学べば学ばほど、自分自身が気づかないままに差別をしていることに気づく」と指摘しました。

あらゆる差別をなくし、人権が守られる社会を築くために、日々の生活の中で一人ひとりの認識と実践がどれだけ大切かを再確認しました。



演奏をまじえ人権を学ぶ参加者

こよみ

- 2月17、24日(木) ゆうゆうびと講座10:00~12:00
- 2月19日(土) わんぱくプラザ南っ子餅つき大会 10:00~12:00 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 2月20日(日) ふれあいコンサート 10:00~12:00 社協
- 2月21、28日(月) 食育講座 9:30~12:00
- 2月22日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 2月26日(土) 社会奉仕 8:30 若草中央公園集合
- 3月3、10日(木) ゆうゆうびと講座10:00~12:00
- 3月4日(金) 定例健康相談日 9:30~12:00 市健康増進課 ふれあい昼食会 12:00~13:00 ボランティア「泉」
- 3月5日(土) 健康ウォーキング 8:45 若草中央公園集合
- 3月8日(火) 地域サロン: 懐メロを歌う会 10:00~11:30
- 毎週金曜日 ふれあい喫茶(お茶の間) 10:00~12:00 若草第五集会所

印の場所は志津南市民センター(公民館)です

アロマ講座開く

志津南市民センター(公民館)は1月31日、アロマセラピスト森亮子さんを講師に、ボランティアが精神的につ



互いにマッサージしあう参加者

らかったときにアロマ(花や果皮などから抽出した天然の精油)トリートメントを受け、心がたいへん癒されたという経験から、今度は自分が人にしてあげ、少しでも心を癒してもらえたらと、病院で患者さんにトリートメントを施した事など、これまで

の経験を披露しました。アロマの知識と香りの種類、注意事項を教えてもらったあと、2人1組でマッサージをしてみました。

講座で初めて出会った人たちも「気持ち落ち着きますね」と話しが弾みました。講師の方から「身近な人からはじめてみませんか?」の声かけに、「家族

元気よくナツメロを歌う若寿会のメンバー



若寿会が新年懇親会

志津南老人クラブ若寿会(奥田隆三会長)は1月8日、志津南市民センターで恒例の新年懇親会を開催しました。今年は今月末、年始にかけ大変寒い日が続きましたが、当日は32人が元気に参加しました。年頭に当たって

にアロマトリートメントします」と応えるなど、部屋に立ち込める香りの中に、人の心を癒すボランティア機運の高まりを感じました。

奥田会長が「今年は若寿会創立25周年を迎える記念すべき年になりました。昭和62年4月に三十数人の会員により発足、歴代先輩の努力と多くの地域の皆さんに支えられ、伝統ある25周年を迎えることができました。これからは私たちが若寿会会員はこの恵まれた環境に感謝し、自分の出来ることで地域の行事に協力し、若寿会を会員みんなの力で守って行こう」と挨拶。このあと、懇親会に移り、村井さんのギター伴奏でお正月の歌やナツメロを元気に歌いました。

最後に全員で楽しく福引大会を行い懇親会を終えました。

食育講座の受講生募集

志津南市民センターは食育講座を次の通り開催します。ふるってご参加下さい。

日時	2月21日(月)
内容	「初めてのマクロビオテック」
日時	2月28日(月)
内容	「玄米や有機農産物を主

総会日程決まる

自治連および各町内会の総会日程が決まりました。会場は、いずれも志津南市民センター(公民館)です。

志津南市民センターへ直接お申し込みください。

- 3月19日(土) 若草1丁目 9時から
- 若草2丁目 10時40分から
- 若草3丁目 12時30分から
- 若草4丁目 14時10分から
- 若草5丁目 15時50分から
- 3月20日(日) 若草6丁目 9時から
- 若草7丁目 10時40分から
- 若草8丁目 13時から
- 岡本町西 14時40分から
- 3月27日(日) 自治連合会 10時から12時

受付は開始時間の20分前です。詳しくは3月中旬配布予定の総会案内をご覧ください。

まちかど アングル

雪法師

石を眺めていると、なんとなく「日本昔ばなし」の一場面に登場しそうなお坊さまに見えてくる。この冬は例年になく雪が多く、寒さもひとしお。それだけに光やわらかに緑が芽吹く春が待ち遠しい。真っ白な綿帽子をかぶった庭



ぎこちない手つきで料理する参加者



「男の料理教室」好評

志津南地区健康推進員連絡協議会は1月29日、市民センターで今期2回目となる「男性のための料理講習会」を開きました。これからは男性もおおいに厨房に入り包丁をにぎる時代です。男性14人の参加者は、まず「パエリア」に挑戦。魚貝類をいっぱい入れてホットプレートで失敗なく出来るとあって「家でもみんなが集まった時に作ってみます」と大変好評でした。

また「白菜のサラダ」「野

牟礼山上り口すつきり

志津南地区社会福祉協議会環境美化グループは1月22日、牟礼山上り口の清掃活動を行いました。

菜とワカメのスープ」「フルーツ」と栄養バランスに考慮した4品に腕をふるい楽しく和やかな2時間を過ごしました。ご参加下さった皆様ありがとうございました。



牟礼山上り口を清掃した環境美化グループ

ました。

当日は寒さもゆるみ雑木林に冬陽の射す中、道端には融け残りの雪だるま。上り口からの長い坂道は一面松葉が折り敷き滑りやすくなっていました。総勢8人で1時間余りかけ取り除きました。

引き続き、数人は山手幹線交差点の林の中に立てられているグリーンヒルの看板付近の枝葉を切り落とし、雑草を取り除いてあたりをすつきりさせました。結果、フェンス沿いの危険な曲がり角も歩行者、自転車、車の見通しもよくなりました。このような自然の中での活動に皆さんのご参加をお待ちしています。

(環境美化グループ)

25日に税の申告相談

市・県民税申告の「お出かけ相談」が、2月25日(金)に志津南市民センター(公民館)会議室で行われます。

受付時間は、午前10時～正午と午後1時～3時です(申告受け付けは午後1時まで)。草津市民の方で、市・県民税の申告相談や確定申告書の提出もできますので、ご利用ください。

折々の記

節分は、季節の分かれ目の立春・立夏・立秋・立冬、さらに彼岸・八十八夜など二十四節気・雑節の前日を指しますが、年中行事の中でも人気の高い立春の前日を節分といひ、邪気を払って春を迎えようという行事です。

しかし、恵方に向かって巻き寿司を丸かぶりする風習だけは広がり、節分行事も様変わりです。ともあれ、立春を過ぎ、大方の人は春を心待ちにしておられることでしょうか、私はちよつと違います。

不安な立春

何年か前までは、夜になると大人や子どももの「鬼は外、福は内」と言う声が聞こえたものです。翌朝は庭に撒(ま)いた豆に雀が群がって豆をついばむ様子を眺めたものですが、最近ではそんな伝統的な行事を楽しむ家庭が少なくなっています。

予想されており、少なかつた昨年と比べると10倍だとか。厳しい寒さの後に大量の花粉、憂鬱な春になりそうです。とはいえ、年度変わりで何かと気ぜわしい日々、家にもこつてもいられません。日ごろおるそかにしがちな体調を整える春の花粉到来に備えたいものです。

花粉の飛散量が平年の2・5倍と

(花粉症歴18年のベテラン)